

## 狛江市環境基本計画における脱炭素分野の改定（案）に関するパブリックコメント及び市民説明会の実施結果について

(1) パブリックコメント実施期間

令和5年8月31日（木）から9月29日（金）まで

(2) パブリックコメント公表方法

広報こまえ9月1日号、市ホームページ、環境政策課窓口

(3) パブリックコメント提出方法

①環境政策課への書面による提出 ②郵便による送付 ③ファクシミリによる送信 ④電子メールによる送信 ⑤ロゴフォームによる送信

(4) パブリックコメント対象者

①市内に住所を有する者 ②市内に存する学校に在学する者 ③市内に事務所又は事業所を有する者 ④市内に存する事務所又は事業所に勤務する者

(5) パブリックコメント提出数

提出者数：2名 意見等件数：7件

(6) 市民説明会の開催結果

日時	場所	参加者数
令和5年9月9日（土）午後2時から	狛江市役所 特別会議室	1名
令和5年9月14日（木）午後7時から	狛江市防災センター 4階会議室	1名

(7) 市民説明会における意見等件数

意見者数：1名 意見等件数：3件

(8) 意見（概要）及び回答

No	頁	項目	意見（概要）	回答
1	P 3	2 気候変動に係る現状と課題	<p>【パブリックコメント】</p> <p>①表の「国際」の中に IPCC の AR 6 について紹介されているが、2℃未満に抑える記述は、AR 6 より正確に記述されているか。</p> <p>②上記の内容では、「2030 年以降に対策を急速に加速」が国際社会の到達点と捉えられかねないため表現を見直すべきである。</p> <p>③環境基本計画の計画期間が 2030 年度までであることから、2030 年までの国際的到達を記すべきである。</p>	<p>①②IPCC 第 6 次評価報告書（AR 6）の第 3 作業部会（WG 3）報告書では「温暖化を 2℃より低く抑えられる可能性を高くするためには、2030 年以降の急速な緩和努力に頼ることになるだろう」と記載されており、内容に誤りはないため、修正は行いません。</p> <p>③同報告書の内容に記載された、温暖化を 1.5℃に抑えるために 2030 年までに必要となる世界全体の温室効果ガス排出削減量を記載します。</p>
2	P 9	2 気候変動に係る現状と課題	<p>【市民説明会】</p> <p>気候変動関連の動向として、7月に国連事務総長が「地球沸騰化の時代の到来」と発言したことに触れるべきである。</p>	<p>ご意見を踏まえ、改定案に追記します。</p>
3	P13	3 ゼロカーボンシティを目指すシナリオ	<p>【パブリックコメント】</p> <p>CCS・CCUS は、技術的にも明確な見通しのないもので、想定する将来像として示すべきものではない。狛江市が目指すビジョンとして掲げることはふさわしくない。削除を求める。</p>	<p>今後の技術進展により、市が関与、活用できる可能性があると考えています。ゼロカーボンシティの実現には、幅広い視点に立ったビジョンが必要となることから、これらの記載は残してまいります。</p>

No	頁	項目	意見（概要）	回答
4	P16	4 気候変動 対策の施策	【パブリックコメント】 市内エネルギー消費量の2030年度の目標値が1,481TJとあるが、根拠を示してもらいたい。	こちらの値は、狛江市ゼロカーボンシナリオにおいて、主に省エネルギー技術や再生可能エネルギーなど脱炭素技術の普及や市の追加的対策、さらに、生活スタイルの見直しや業務・物流サービスの集約化、エネルギー需給構造の変革といった社会変容の可能性を組み込んで推計したものとなっております。
5	P16	4 気候変動 対策の施策	【パブリックコメント】 廃棄物削減目標は、現行の環境基本計画からの再掲とあるが、再掲ではなく、見直しが必要だと考える。対策の追加を求める。	廃棄物に関する指標は、「基本目標3（資源循環）」で設定した指標を関連指標として掲載したものです。 今回の改定の範囲は、狛江市環境基本計画のうち「基本目標2（地球温暖化）」の部分となることから、こちらの指標の見直しについては、今後の計画改定の中で議論してまいります。
6	P18	4 気候変動 対策の施策	【パブリックコメント】 再エネ導入量が6%とあるが、13ページに他地域との連携による調達とあり、これを踏まえれば、さらに積み上げることは可能ではないか。	再エネ導入量の目標については、狛江市ゼロカーボンシナリオにおいて、導入ポテンシャルの分析結果に基づき示した値です。 データに基づく適切な値と捉えており、この目標の達成を目指してまいります。
7	P17	4 気候変動 対策の施策	【パブリックコメント】 1-5の脱炭素社会に向けた普及啓発について、国の水準にとどまらない発信を期待する。	改定案で示した施策に沿い、脱炭素社会に向けた普及啓発・情報発信の一層の推進に取り組んでまいります。

No	頁	項目	意見（概要）	回答
8	P17	4 気候変動 対策の施策	<p>【市民説明会】</p> <p>地球温暖化対策は、市民の協力が不可欠だが、今回の市民説明会の参加者が少なく、環境意識を持っていても行動ができていない人が多くいると感じた。そのため広報や啓発を強化するべきである。</p> <p>また、異常気象が深刻化しており、日本や狛江の将来を危惧する。子どもたちが安心して暮らせる環境を残していくためにも親世代への意識づけが重要である。</p>	<p>子どもたちの未来ために、保護者世代への意識づけは重要であると認識しており、広報やSNSを活用し、啓発、情報発信を行なっております。</p> <p>改定案においても「脱炭素社会に向けた普及啓発・情報発信の一層の推進」を施策として掲げており、その推進に向けて取組みを進めていきます。</p>
9	P17	4 気候変動 対策の施策	<p>【パブリックコメント】</p> <p>狛江市は2021年4月にゼロカーボンシティ宣言を発出したが、宣言の露出が少なく、そのために市民の認知度が低迷しているように思う。その状況を改善するため、以下を提案するので、検討して欲しい。</p> <p>①市役所または市役所前の広場に『狛江市ゼロカーボンシティ宣言～2050年CO2排出量実質ゼロに向けて～』の垂れ幕等を掲出する。</p> <p>②「狛江市ゼロカーボンシティ宣言」のロゴとバナーを作成し、広報こまえと狛江市の公式サイト、SNSに掲出する。</p>	<p>改定案では、脱炭素社会に向けた普及啓発・情報発信の推進にあたり、市民・事業者の認知や理解の進み方も意識しながら、啓発活動に取り組むことを示しています。</p> <p>狛江市ゼロカーボンシティ宣言についても、市民の認知度が十分でないことを意識し、周知啓発に取り組んでまいります。</p> <p>ご提案頂いた具体的取組については、施策を進める上で参考とさせていただきます。</p>
10	P20	4 気候変動 対策の施策	<p>【市民説明会】</p> <p>雨の降り方が極端化しており、干ばつなど農業への影響が深刻である。これらへの対策も入れるべきではないか。</p>	<p>気候変動は、健康、防災、施設管理、農業等、さまざまな分野に影響することから、適応策の項目に「適応策の推進にあたっては、庁内で連携を図りながら取組を進める」旨を追記します。</p>